



寄留者を侮辱する 氣持では毛頭ない

警城時報が平水道の水源視察團一行四十餘名が沈澱地擴張工事を見學の際水道委員として同工事監督中であつた花澤久一郎君が「家屋敷のない徒輩の愛叮騒 ぎは何にもならぬ」と云つたといふので昨日の時報紙上で佐藤君が「町議花澤君の暴言に與ふ」と題し花澤君に食つて掛つて居るが右に關し花澤君に問はば「イヤ何、私としては佐藤君の云ふ様に寄留者がどうの本籍地がどうのと

非常な 寄留者に當て付けがましく云つた際に

とられたんだが、イクラ私馬鹿な男だつたつて殊更らに此重大な問題に付いて本籍者と寄留者を區別し寄留者を侮辱する様な氣持で暴言を吐くかどうかが常識で判断しても判る話ではなないか、佐藤君としても本當に

平町の 水道を心配して居るから私の言葉尻等を仰々しく書き立て、居る暇に折角解決案でも研究したらどうかと思ふ」との事であつた

平署は 犯罪を檢舉 毎日四件の

平署に於ける既往三ヶ年の犯罪檢舉成績は十四年の總件數一四一八對一五〇七次に十五年は一三九一對一四三〇本年は最近迄の五六七の中五四三を檢舉してゐるが犯罪別では各年共に六五〇から七五〇に上る窃盜が最高で年次増加しつつあるは詐欺横領の類及び氣荒な炭礦労働者等の在住關係で毎年四件乃至五件の殺人を出だし傷害もまた六十五六件に上り本年は労働争議が

田植に差支へて 頻りに雨を待つ

石城郡地方は過般來田植期に臨んで早天に遭遇し爲に各河川江筋とも水量順に減退し 田植の困難を見るに至り小川江筋より灌漑する耕地等には田植の全然不能に陥りし部落迄あつた程の始末にて同地方一般農村は大に前途を憂慮してゐた矢先去る十六日の降雨にて之等の水不足は稍緩和された傾向となりし

其雨量の少量なり

こと其後に於ける降雨なき爲再び水不足は到る處に叫ばれ未だ田植の終了を見ざるに至つたので此程源水大堰の拡張をなし水量の増加を計つてゐるが下流大浦村名木鹽木狐塚大野村戸田等は尙充分なる

患者一般に 經過が良好

石城郡湯本町では過般來腸チブス患者續出し一時二十二名の隔離者を見るに至り隔離病舎の増築をさへ懸念された程であるが最近漸次下火となりその後新患者の發生なきに加へ連日一二名宛の全快退院者を出しつゝあるの近くその終熄を見るものと樂觀されてゐる



こんぶと味の素 昆布の風味は、グルタミン酸の含有によるのでありまして、之を調和するヒスチデンを含有するものを選

小名濱で 鮭の大漁

石城郡小名濱町の大敷網に十九日午後本縣沿海でめづらしい卅貫乃至四十貫の大まぐろ五百尾がはいり數十名の漁夫總が、りて同日は三百尾引上げたのみで残り二百尾は廿日朝來引上げた右の大漁で相場は十掛から七掛に暴落したなほ価格は一萬二千圓に達すると

無鑑札處罰

平町に於ける商賣買の免許證所有者は八十三名に達してゐるが行商をなす場合に尙別に商賣買營業鑑札を所持することとなつてゐるのに該鑑札の所有者は現在六十三名にて二十名が鑑札を所持せず行商買營業を営んでゐる譯之等は商賣買業者取締規則に違反してゐるものであるから規則を熟知せざるに拘らず直に該鑑札の交付を受けて違反なき様注意すべしと

温泉神社の 縣社昇格手續

石城郡湯本町郷社温泉神社では過般來縣社に昇格を以て願をなすべく社有財産の整理その他準備着々進行中の處最近愈々之が下準備了し神官佐波古直元氏子總代菅波駒之助、柏木清七の三氏が十九日出福縣當局に之が

伊東知事 平水道視察

廿日午前十一時上野發常磐線で引返し午後四時泉驛に着自動車で小名濱に向ひ

縮石明の年今 巧技いしら新

今年の明石縮は江戸好みに粹な調子のものが多く誠に民衆的に好ましい柄のものとなりまして色合は一般の浴衣地等と似通つた納戸色を中心として紺色や鼠色等でそれに今年の流行色なる鳩羽色、淺黄等

派手向き

に用ひられて居ります、その二三の例を示しますと先づ二十二三歳向きのもので納戸地に薄い朱色で大きな緋を現しそれに強く横縞をあしらつたもの極めていきな好みの

耳の兎

俄か成金の悲劇 小樽市真榮町客馬車業佐々木一五郎(三三)は妻ノブ(三〇)との間一子あり貧しい乍ら一家圓満に暮してゐた處今度郷里岩手縣の父が死亡したので遺産のうちから七千圓を分與され大喜びで歸宅したまではよかつたが持ちつけない大金を持つたので精神に異状を呈し札束で懐ろを膨らませ「金、金、金、ちや」杯と譯のわからぬとを口走り家出した儘行方不明なほど馬鹿に膽ツ玉の小さい男かな